

129期生修学旅行の様子（9月1日～4日）

2年生は、2015年9月1日(火)～4日(金)の4日間、北海道道東方面に修学旅行に出かけました。

北野高校では十数年ぶりとなる道東。屈斜路湖畔のホテルに3連泊し、自然遺産知床半島、釧路湿原、野付半島など、雄大な自然を楽しみました。

知床では、観光船に乗る組と、車で行ける最奥、カムイワッカの滝（温泉の滝）に行く組に分かれました。観光船乗り場では、大先輩、森繁久彌さん（45期）の「知床旅情」の歌碑の前で記念撮影をしました。知床五湖の散策では、オホーツクと羅臼（らうす）岳につづく峰々を見はるかす、360度の景観に浸りました。

釧路湿原組は、まずはオンネトーを散策、釧路市内の自由行動へ行った組は、和商市場などで海鮮ものに舌鼓、その後貸し切り列車に乗りこみ、ネイチャーガイドさんの解説を聞きながら湿原を眺めました。カヌー組は、バーベキューのあと、塘路湖でカヌーを楽しみました。

牧場組は、ゆったりと和琴半島を散策した後、牧場でバーベキュー、そのあといろいろな牧場体験をしました。硫黄山、砂湯に行った組もあります。

鮭の海釣りのシーズンでしたが、野付半島へ行った組は、釣りやいくら作りなどの体験活動をしました。



宿では、クラスレクリエーションや学年全体レクリエーションを楽しみました。湖畔へ出て、星を眺めたり、花火をしたクラスもあります。

空いた時間に、湖畔を散歩している人もありました。

学年全体レクリエーションは、「知床旅情」の合唱でスタート。個性豊かな出し物あり、ゲームあり。修学旅行委員がいっしょうけんめい運営し、大成功でした。

キタキツネ、シカ、タンチョウヅル、エゾリス…たくさんの野生動物に出会えました。そして、なんととってもかわいかったのは、道ばたに突然現れたコグマ。ころころと転がるように笹の中に走って行きました。

「この空気をカンヅメにして持って帰りたい」といっている生徒もいました。

ほんとうに、あの澄んだ空気、あのひろびろとした空間にずっと浸っていたいと思える4日間でした。



